

新聞・雑誌風の記事を書こう！(研究)

<ねらい>

インタビュー記事作成の準備として、実際の雑誌・新聞記事の内容・見出しの工夫を研究し分析する。

<手 順>

- ①新聞・雑誌で記事を読みたくなった「見出し」を一つあげ、理由を考察する。
- ②実際の新聞・雑誌の記事を、レイアウト・写真・構成などの工夫を考察する。
→自分が作る記事をイメージして、例えば書き出しなど、しっかり見てみよう！

「見出し」の研究

見出し	
雑誌・新聞名	
読みたくな った理由	
見出し・内容 の工夫(どん な工夫を感 じられる か?)	

スポーツ新聞や女性誌は見出しで売り上げが変わるといわれています。
読みたくなるような、かつ内容がある程度想像できるような見出しの工夫は、
記事を読んでもらうためにも大切な工夫なのです。

新聞・雑誌の記事の研究

記事 タイトル	
雑誌・新聞名	
概要	
レイアウト (絵コンテ 風にメモ)	
分析・考察 (内容・写真 の工夫など)	

高校2年 組 番 (名前)

新聞・雑誌風の記事を書こう！

<ねらい>

- ①インタビュー・取材といった情報収集の方法を体験し、まとめる力をつける。
- ②編集の段階で、文章の内容・見出し・書体の工夫を行い、読み手を意識した文章・記事が作成できるようにする。

<課 題>

- 1. 1人へのインタビューまたは複数の取材による記事を作成する
 - ・ネットや本だけでなく、直接他の人から話を聞くことが今回の必須条件！
- 2. 取材した内容を「WORD」の段組機能を使って、雑誌の記事風にまとめる

<手 順>

- 1. 雑誌・新聞記事を参考に、インタビュー・取材の企画を行う
 - ①企画書に記事のねらい・内容を記入し、取材対象を考える。
 - ・インタビューならあらかじめその人のどういう部分を引き出すか、ねらいを定め、その内容にそった質問項目を設定するとまとめやすい。
 - (例) 乗馬をやっている〇〇さんからその面白さを取材する
 - ②取材対象への質問項目・インタビュー項目を多めに書き出す
 - ・プライバシーに関わる内容については注意する
 - ③インタビュー・取材対象者に事前の了解を得て、取材を行う
 - ・その場で取材を申し込むのではなく、事前に時間の予約を行う
- 2. 見本や雑誌・新聞記事を参考に、インタビュー・取材の企画を行う
 - ①企画書の内容に沿って取材を行い、ワークシートにメモをする
 - ・準備した内容だけでなく、ふくらませて多めに聞くようにする
 - ②必要な写真・画像を撮影または用意する
 - ・ニュースなら現場の写真、対談記事なら相手の写真を撮影する
- 3. 内容を取捨選択し、記事・見出しを Word で作成する
 - ・取材したすべての内容を書くのではなく選択して書くようにする
 - ①記事は縦書き、3段組とし、文章の量もちょうど埋まる程度とする
 - (ア) 縦書きの設定：「ページレイアウト」→「文字列の方向」→「縦書き」
 - (イ) 段組の設定：「ページレイアウト」→「段組」→「3段」を選択
 - ②記事の内容は以下の例を参考に構成する
 - (ア) 対談記事：「その人の紹介」→「対談内容」→「まとめ」
 - (イ) ニュース：「5W1H」を基本に、取材を交えて書く
 - ③画像の記事に貼り付ける
 - ④文章の最後に（記者 K2A〇〇〇〇）と自分の署名を行う。
- 4. 見出しを工夫し、作成する。

記事概要	
ねらい	
対象・方法	
取材項目	
取材メモ	

高校2年 組 番 (名前)

新聞・雑誌風の記事を書こう(評価)

< 手順 >

1. 自分の作品の工夫した点、みどころ、他の人と違うなどアピールを下の準備シートに記入する。

ア ピ ー ル	
------------------	--

< 評価の手順 >

- 手順 1. コンピュータ→「高1」→「相互評価」→「クラス+記事」で、自分の出席番号の番号のファイルを開く。
2. 下の発表の観点に沿って評価を行い、SABC (大文字半角)、点数の計算 (半角) を行う。コメントも時間の許す限り記入する。
3. すべての発表が終わったら、上書き保存して終了する。

< 評価基準 >

	評価項目	A	B	C
発表	今回は評価しません			
デザイン	①見出しの工夫 ②読みやすくする工夫 ③レイアウト見やすさの工夫	①②③ともよくできている	①②③のうち一つ不足している	①②③のうち二つ不足している
内容	①文章の内容の濃さ ②オリジナリティ・魅力 ③ボリューム (内容量)	①②③ともよくできている	①②③のうち一つ不足している	①②③のうち二つ不足している

※ 標準がB、いいものがAで、SはAでもとくにすばらしいもの

自己評価シート

	A	B	C	自己評価
時間配分	時間を有効に使い、工夫を重ねた作品を作れた	決められた時間内で作品を完成させた	時間を無駄に使うことも多かった。	
制作態度	積極的に工夫し作品を完成させた	指示通りの作品を作ることができた。	なかなか手が動かず、作品制作に手間取った。	
コメント (感想)				

☆考察☆高い評価をつけた人は、どのような工夫・方法をしていたか考えましょう！

1. 企画でよかった作品は、どのような工夫がされていましたか？

2. デザインでよかった作品は、どのような工夫がされていましたか？

3. 内容でよかった作品はどのような工夫がされていましたか？